

日本大学工学部 特別講演会

ブラックホールの撮影って何がすごいの？
—研究成果の解説と国際プロジェクトの舞台裏—

日時: 令和元年6月18日(火) 16:30~17:30

会場: 日本大学工学部6232教室(ハットNE3階)

講師: 田崎 文得 氏

(国立天文台 特任研究員,
日本大学工学部 非常勤講師)

備考: 事前申込不要(参加費無料)

当日, 会場に直接お越しください
受付開始(16:00)



お問合せ先: 日本大学工学部 庶務課 TEL024-956-8618

<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/>

工学部特別講演会

ブラックホールの撮影って何がすごいのか？

—研究成果の解説と国際プロジェクトの舞台裏—

講師：田崎 文得 氏

(国立天文台 特任研究員、日本大学工学部 非常勤講師)

日時：令和元年6月18日(火) 16:30～17:30

会場：日本大学工学部6232教室 (ハットNE3階)

講演要旨：2019年4月10日、史上初めてブラックホールの撮影に成功したというニュースが世界中を駆け巡りました。アインシュタインによって相対性理論が提唱されてからおおよそ100年、物理学者・天文学者の悲願だったブラックホール撮影を達成し、ついにブラックホール研究の新時代が幕を開けたのです。ブラックホールの撮影に成功したのは、イベント・ホライズン・テレスコープ・プロジェクト。世界中から集まった200名以上の研究者で構成される国際プロジェクトです。このメンバーの一人である田崎氏が「ブラックホールって何？」「どうやって撮影したの？」などの疑問にお答えしながら、この研究の意義やプロジェクトの舞台裏をお話しします。

講師紹介：1985年千葉県生まれ。2014年3月、京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻修了、博士(理学)。2014年10月より、国立天文台水沢VLBI観測所特任研究員。電波観測やX線観測を利用して、巨大ブラックホール周辺の活動現象を観測的に研究することを専門とする。イベント・ホライズン・テレスコープ・プロジェクトには、2014年4月から参加し、画像化ツールの開発やデータ解析に取り組む。また、プロジェクトの広報も担当している。